

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2072800549		
法人名	社会福祉法人梓の郷		
事業所名	グループホームサルビア		
所在地	長野県松本市梓川倭3234番地15		
自己評価作成日	平成 29年 1月 12日	評価結果市町村受理日	平成 29年 3月 29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/20/1/index.php?act=on_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&ly_gyosyoCd=2072800549-00&Pr_ofCd=20&Ver_si_onCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	平成 29年 2月 27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1.昨年4月からおたつしゃカフェ(オレンジカフェ)を立ち上げ、地域の方の相談・交流の場所を設けている。事業所の持っている知識を発信するとともに、地域力も引き出していく場所となっている。2.回覧板やチラシを近所の方に直接手渡す事により、交流がさらに深まっている。3.離れた場所に畑を借り地域力を引き出ししながら、野菜作りをしている。4.ごみゼロ運動・お宮の掃除等に積極的に参加している

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設16年を迎える当ホームは雄大な北アルプスの山々を望み周りを田畑と住宅街に囲まれた環境下、併設の介護老人福祉施設と共に活動している。地域に根を生やしたホームを目指し取り組みを続けており、地域の皆様に「親しく挨拶をする」、「普通に話し掛ける」ということを管理者の方針として徹底して行ってきた。その結果、今ではホーム独自の理念にあるような「地域の皆様との連携も深まり、馴染みの関係も構築され、その関わりを感じながら暮らしを共にする」ということが実感できるようになり、利用者の暮らしの中に役立てられている。昨年より行われている「おたつしゃカフェ」は案内状を利用者と共に近隣に配布し、毎回30名位の方が来場し情報交換の場となっている。また、9月の運営推進会議後に実施される「カレーの会」には家族、地域の皆さんをはじめ約60名の来場があり「ホームでの日常の様子を」カレーを食べながらスライドで紹介し喜ばれている。更に、毎月行われる「絵手紙サークル」も回覧板での告知が定着し、地域の10名位のお年寄りが毎回参加され利用者とは交流しながら楽しんでいる。その他、清掃活動、文化祭等の地域活動にも積極的に参加し、地域の人々との関係を深め共に歩み続けている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		